

和歌山県「大学のふるさと」事業による3者協定の締結と那智勝浦町との連携活動

2016年6月、本学は、和歌山県が進める「大学のふるさと」事業により、和歌山県および那智勝浦町（和歌山県東牟婁郡）との3者協定を締結しました。

この「大学のふるさと事業」は、和歌山県が県下の自治体と、県外の大学とを結び付け、同地域が抱える地域課題に、大学とともに取り組むものです。

この協定締結以前より、本学は現代ビジネス学部の教員・学生による「京都橘大学・熊野再発見プロジェクト」を通じてさまざまな活動を行ってきましたが、協定締結をきっかけに、さらに活発な連携活動を展開しています。

本学と那智勝浦町観光協会が共催し、京都において熊野の魅力を発信する公開講座「熊野学講座」の開催や、同町内企業や旅館組合、観光協会と連携した単位認定型インターンシップの実施、毎年恒例の「京都駅ビル大階段駆け上がり大会」への共同参加、本学大学祭への那智勝浦町ブースの出展など、さまざまな取り組みを通して、地域の観光・地域振興に貢献しています。また、昨年（2017年）度は、京都橘大学の開学50周年と、同町との連携を記念し、記念植樹の交換をし、本学と同町で植樹式が行われました。

単位認定型インターンシップは学生にとっても人気が、今年度以降も毎年実施される予定です。

※「京都橘大学・熊野再発見プロジェクト」について

世界遺産を含む多くの観光資源を有しながらも、観光客増加や2011年の台風被害からの復興などの課題を抱える当該地域の観光・地域振興に協力することを目的に、那智勝浦町観光協会と連携し、本学教員と学生が立ち上げ、2014年度から活動しています。2016年2月には、地域連携の経緯や、これまでの活動について記載した特設ホームページも開設しています（<http://tachibana-u.wix.com/kumano-pj>）。

